



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月5日

上場会社名 株式会社薬王堂ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7679 URL <https://www.yakuodo-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 西郷 泰広 (TEL) 019-621-5027
四半期報告書提出予定日 2023年7月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	33,778	9.1	1,350	10.5	1,441	10.4	984	10.0
2023年2月期第1四半期	30,952	—	1,223	—	1,305	—	894	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 942百万円(11.0%) 2023年2月期第1四半期 849百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	50.23	—
2023年2月期第1四半期	45.33	—

(注) 2023年2月期第1四半期の各数値については、会計方針の変更を適用した後の数値となっております。
このため対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	68,566	30,392	44.3
2023年2月期	67,709	29,939	44.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 30,392百万円 2023年2月期 29,939百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,301	7.1	2,874	1.8	3,041	1.8	2,092	1.5	106.78
通期	136,863	6.3	4,704	0.9	5,049	0.7	3,336	3.0	170.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期1Q	19,740,219株	2023年2月期	19,740,219株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	145,229株	2023年2月期	145,229株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年2月期1Q	19,594,990株	2023年2月期1Q	19,740,196株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
3. その他	8
(1) 仕入及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、外出機会の増加による消費マインドの回復がみられるものの、エネルギー資源の高騰や円安の進行等による原材料価格の上昇による、個人消費や経済活動への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属するドラッグストア業界においては、外出機会の増加により化粧品需要回復や、季節商品の伸長はあるものの、原材料等の高騰による商品原価値上げの影響により売上鈍化が予想されるなど、経営環境としては厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを福島県1店舗を新規出店いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は382店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局2店舗）となりました。また、岩手県と宮城県を中心に12店舗の改装を実施し、エリアドミナントと既存店の強化をいたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は337億7千8百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は13億5千万円（前年同四半期比10.5%増）、経常利益は14億4千1百万円（前年同四半期比10.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億8千4百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

① ヘルス

医薬品は感冒薬等が伸張し、衛生用品では介護用紙おむつや生理用品等が伸張いたしましたが、マスクや抗原検査キット等の新型コロナウイルス関連商品の反動減により、売上高は前年同四半期比0.2%減少し、61億9千万円となりました。

② ビューティ

化粧品はセルフ化粧品やポイントメイク等が伸張し、トイレタリーではヘアケアやオーラルケア、洗顔等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比6.4%増加し、46億1千9百万円となりました。

③ ホーム

日用品は家庭紙や洗剤等が伸張し、衣料品では肌着や履物等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品や園芸等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比12.0%増加し、69億7千5百万円となりました。

④ フード

食品は日配品や冷凍食品、生鮮食品等が伸張し、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比12.9%増加し、159億3千3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、685億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5千6百万円の増加となりました。

流動資産は314億9千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億7千4百万円増加しました。主な増加要因は、商品の増加が18億2千万円あったことがあげられます。

固定資産は370億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円減少しました。主な減少要因は、建物等の有形固定資産の償却等による減少が1億9千4百万円あったことがあげられます。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、381億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3百万円の増加となりました。

流動負債は241億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億2千1百万円増加しました。主な増加要因は、買掛金の増加が16億8千8百万円あったことがあげられます。

固定負債は140億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億1千7百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金の返済による減少が6億1千7百万円あったことがあげられます。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、303億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千2百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加が4億9千4百万円あったことがあげられます。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において2023年4月5日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,280	4,033
売掛金	1,524	1,798
商品	21,463	23,284
その他	2,150	2,377
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,419	31,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,115	27,785
土地	622	619
その他(純額)	2,497	2,635
有形固定資産合計	31,235	31,040
無形固定資産	281	274
投資その他の資産	5,773	5,756
固定資産合計	37,290	37,072
資産合計	67,709	68,566
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,485	16,173
1年内返済予定の長期借入金	2,943	2,784
未払法人税等	1,107	546
契約負債	802	810
賞与引当金	585	350
店舗閉鎖損失引当金	46	45
その他	3,276	3,458
流動負債合計	23,247	24,168
固定負債		
長期借入金	10,978	10,361
資産除去債務	1,722	1,731
その他	1,821	1,912
固定負債合計	14,522	14,005
負債合計	37,770	38,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,311	2,311
利益剰余金	27,854	28,348
自己株式	△300	△300
株主資本合計	29,964	30,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△25	△66
その他の包括利益累計額合計	△25	△66
純資産合計	29,939	30,392
負債純資産合計	67,709	68,566

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	30,952	33,778
売上原価	24,203	26,418
売上総利益	6,748	7,359
販売費及び一般管理費	5,525	6,008
営業利益	1,223	1,350
営業外収益		
受取利息	4	4
受取事務手数料	44	45
固定資産受贈益	8	7
その他	36	42
営業外収益合計	94	101
営業外費用		
支払利息	8	10
その他	3	0
営業外費用合計	11	10
経常利益	1,305	1,441
税金等調整前四半期純利益	1,305	1,441
法人税、住民税及び事業税	231	508
法人税等調整額	178	△51
法人税等合計	410	457
四半期純利益	894	984
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	894	984

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	894	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	△41
その他の包括利益合計	△45	△41
四半期包括利益	849	942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	849	942
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下、「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

① 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	4,023	16.2	4,177	14.8	+3.8
ビューティ	3,171	12.8	4,051	14.4	+27.8
ホーム	5,449	22.0	6,259	22.2	+14.9
フード	12,180	49.0	13,709	48.6	+12.5
合計	24,824	100.0	28,197	100.0	+13.6

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第1四半期連結累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	6,203	20.1	6,190	18.4	△0.2
ビューティ	4,340	14.1	4,619	13.7	+6.4
ホーム	6,231	20.2	6,975	20.7	+12.0
フード	14,118	45.6	15,933	47.2	+12.9
合計	30,893	100.0	33,718	100.0	+9.1

ロ. 地域別販売実績

当第1四半期連結累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	4,410	14.3	4,819	14.3	+9.3
秋田県	4,567	14.8	5,073	15.0	+11.1
岩手県	9,941	32.1	10,389	30.8	+4.5
宮城県	7,573	24.5	8,210	24.4	+8.4
山形県	3,019	9.8	3,333	9.9	+10.4
福島県	1,381	4.5	1,893	5.6	+37.0
合計	30,893	100.0	33,718	100.0	+9.1